



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2002-2003

5月 ガバナー月信

No.11

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760 2003年5月1日発行



北斎即書大面引札

ガバナーメッセージ	2	インターアクトクラブ顧問・委員懇談会	15
2005国際博覧会報告	3	第5回地区諮問委員会	16
IM開催報告		DDFプログラム選択会議	16
(西名古屋、西三河中、東名古屋、東三河、西尾張、東尾張)	4	米山特別寄付報告	17
一宮北RC創立40周年	10	ポール・ハリス・フェロー	17
米山奨学期間修了者歓送会及び指導教官感謝の会	11	文庫通信	18
米山奨学生アンケート(3)	12	出席報告	19
社会奉仕委員長会議	15		

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 岡部 快圓

〒460-0011 名古屋市中区大須2-21-47 大須観音宝生院内

TEL 052-229-8110 FAX 052-232-1023 E-mail: governor02-03@rotary2760.org

Governor Message

ガバナーメッセージ

ガバナー 岡部 快圓

会長さん、幹事さん、会員の皆様お元気ですか、残り2ヶ月となりましたが本年度の総仕上げと次年度への受け渡し等でお忙しい日々をお過ごしのことと思います。

今月は変わってはならないロータリーの本質について考えてみたいと思います。

ロータリー運動の実体を、見事に表現した言葉として、[入りて学び、出でて奉仕せよ Enter to learn, Go forth to serve] という言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育まれます。この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリー・ライフです。

ロータリーは哲学であり、その特徴は、二十世紀における最も進化した職業人の倫理基準を作り出した職業奉仕にあるといわれています。ロータリークラブは奉仕をする団体ではなく、奉仕をするロータリアンの団体です。

ロータリークラブの使命は、例会の場を通じて、ロータリアンの心に奉仕の理念を育むことにあります。ロータリアンは職業人であることから、探究されるべき奉仕の第一選択肢は、プロの職業人としての奉仕、すなわち職業奉仕であり、ボランティアに基づく社会奉仕や国際奉仕がこれに次ぐことは論を待ちません。

ロータリークラブの評価は、そのクラブがどんな事業をしたかではなく、どんなロータリアンを作り出したかによって決まるといわれています。これがロータリー運動は人づくりにあるといわれる所以でもあります。

1959年にR I 会長を務めたハロルド・トーマスはそ

の著書「ロータリー・モザイク」の中で、キップリングのジャングルの法則を引用して、ロータリーを説いています。

「狼は群の力、群は狼の力」この言葉の意味するところは、羊が何千

匹集まったとしても所詮何の力も発揮できませんが、一匹一匹が明晰な頭脳と強靱な体力を合わせ持っている狼が群を作り、更にそれに適切な指導をするリーダーとチームワークが加わることで、強力な力を発揮するということでもあります。これは I serve か We serve かを問うものではなく、ロータリアンの資質とリーダーシップとチームワークの大切さを教えてくれる考え方です。

個人奉仕を原則としながらも、これに地域社会、国際社会のニーズに合致し、更に決議23-34を遵守したクラブ・レベルの団体奉仕を加えることが、ロータリーが理想とする奉仕活動なのです。

ロータリアンは夢追い人、ロータリークラブは夢を追う人に更に大きな夢を与えるための情報発信基地です。世界平和を夢見る人、飢餓追放を夢見る人、豊かな老後を夢見る人、新世代を育てることを夢見る人、それぞれ夢見る内容は異なっても、利他の心からでたボランティアに基づく善意の発想であることには間違いありません。

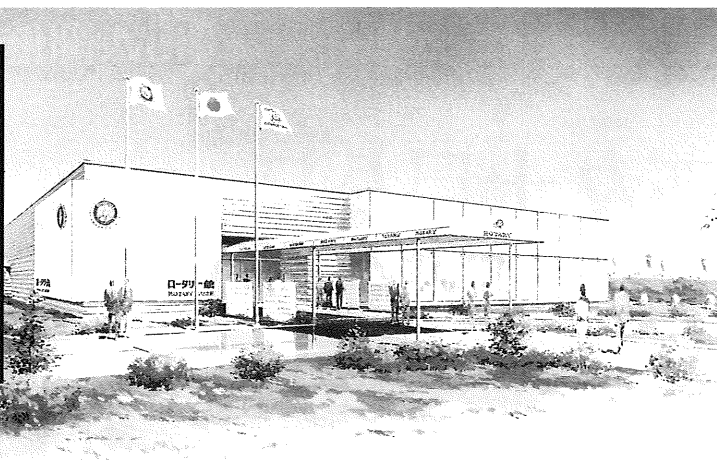
そしてその夢を叶えるために必要な原資すら、職業奉仕の実践によって、すべての事業の職業倫理を高めながら自分の事業を発展させていくことで得られるとするなら、まさに、ロータリアン冥利に尽きる話ではないでしょうか。

変わってはならないロータリーの本質をここに「慈愛の種を播きましょう」。



2005国際博覧会委員会報告

万博事業を 成功に導こう!



日時 平成15年3月26日(水) PM2:30～PM4:30

於 地区事務所

出席者 内藤委員長 豊島徳三 G E 川村悌次副委員長 岩間俊夫副委員長

加藤俊夫 飯田幸雄 神戸芳樹 杉本仁至 種村桂介 国分孝雄 中野昭雄 池田憲司 伊藤宏 村野力男 内田栄一

鈴木孝則 瀧義孝 内藤耕造 森武保 片山主水 藤井克己

前回3月6日の委員会ではロータリー館を正式に建設することが議決され、ガバナー、ガバナーエレクトのご尽力を頂いて“万博事業を成功に導こう”をうけて委員会が開催されました。

《《《《 最近の報告 《《《《

○最新の博覧会協会の情報について、理事会、評議員会の報告のレジメについての説明

○ロータリー館の青写真についての説明

○公式参加国についての説明

《《《《 議題 《《《《

○ロータリー館建設と運営の件

- ・ 次回の委員会までに、全国2000RC単会を対象にロータリー館利用運営に関する、調査の為「2005年日本国際博覧会に関するアンケート」を実施する。
- ・ またロータリー館運営予算について説明があり、運営予算を6000万円とする事で、了承。
- ・ コンサートの件は名古屋ロータリーが中心となってチャリティーコンサートを開催します。地区内のロータリー各クラブに内藤委員長名で、案内を出した。入場券は完売に近い。

○会計処理について

- ・ 地区事務所から、ホームページでPRしたらどうか。会員の皆様に日々PRする事が大事だ。
- ・ 会計処理の立替分は、処理出来ているか。
- ・ 立替分は、まだ決済出来ていない。
- ・ 各ロータリーの万博委員会は怎么样了。

- ・ 一回、万博委員会を開いて、そのままになっている。
- ・ せっかくあるクラブの委員会を、活用しなければならない。
- ・ 第一回全体会議を開いて、そのままになっている。誠に申し訳ない。
- ・ これから再度構築しなおす。
- ・ 今までは、予算も決まっていなかった。やっと建設費1億5千万円、運営費6000円という予算ができあがった。これからだ、後2年という時間がある。今までの事は水に流して、これからやりましょう。
- ・ 運営委員会（全体会議）は、さっそく開く様にします。
- ・ アンケートだけは、早急に出したい。後の運営費は、あくまで概算です。

○募金について

- ・ 2630地区が、3月になってから振込み先を知らせたいとの事です。
- ・ 2760地区しか当てにはできない。
- ・ 本気でPRしなければならない。
- ・ 岐阜・三重・長野、過去に協力しておいた所から、徳がかえる。
- ・ 地区内でもっと、お願いしなければならない事になる。
- ・ 地区協の各分科会でPRしたらどうか。
- ・ 分科会のリーダーに6～7分時間を取っていただいて、万博への理解を求めるPRをして頂く。
- ・ 大変心配している。お金を今集める方法も現実的に考えなければならない。
- ・ 地区内からどうしても集めなければならないという事であれば、その方法も考えなければならない。

I.M.開催報告

西名古屋分区

テーマ

中部から世界へ

開催日 平成15年2月19日(水)
 会場 名鉄ニューグランドホテル
 主催者 ガバナー補佐 青島邦夫
 ホスト 名古屋名駅ロータリークラブ
 参加者 特別出席者11名 会員439名
 参加クラブ 名古屋、名古屋西、名古屋南、名古屋みなと、名古屋東南、名古屋中、名古屋瑞穂、名古屋大須、名古屋栄、名古屋名駅、名古屋名南、名古屋西南

今回のIMを開催するにあたり「中部から世界へ」というテーマをつけました。

この中部地方は自動車、工作機械、IC、セラミック等、まさにものづくりのメッカであり、2005年には「愛・地球博」と称し「自然の叡智」をテーマに万国博覧会が開催されます。さらにそれに先だってセントレア「中部国際空港」が開港となります。

環境の世紀と言われる21世紀、そういったことを契機に名古屋に東京のビッグサイトに勝るメガサイトが建設され、この中部が日本、いやアジアの情報発信のセンターになることができたかと思っております。

そこで第一部では中部国際空港㈱の平野社長より「セントレアの開港に向けて」と題した記念講演をしていただきました。その一部を紹介します。

セントレアのセールスポイントとして利便性、経済性に優れた空港であること、サービス、環境問題に大変配慮されていること等を説明されました。

日本の中央に位置するという立地条件、そして名古屋から名鉄で28分、高速道路を使えば名古屋都心から30分から40分という恵まれたアクセスになるとのことです。成田や関空を利用された方ならこのアクセスの良さはわかりになると思います。また日本で3本目となる3500m級の滑走路が24時間使えるということで、本当の意味での国際空港として、評価さ



れるのではないかとのことでした。

さらにテーマを持った商業施設を造ることにより、空港利用者以外の多くの人々に利用し楽しんでもらう様々な工夫がなされているようです。その他経済性にも多くの工夫がなされ、国際競争力のある空港として、成田、関空と連携し需要の増大に対応していきたいとのことで、開港が待ち遠しくなるような講演でした。

第2部の懇親会はその開幕をホストクラブ会員である観世流能楽師久田勘鷗氏による「石橋」で飾っていただき、これにホストクラブ会員有志の結成するコールカメラリアの男声合唱等、たいへんアットホームで楽しい懇親会となり、会員間の交流も大いに盛り上がっていたようでした。

そして何よりも、パストガバナーの加納泉氏に「とても温かな雰囲気(IM)ですね」とほめていただき、大変光栄に思った次第です。

今回のIM開催にあたり、各クラブの多数の会員の皆様に多大なるご支援をいただきましたことに感謝いたしております。



I.M.開催報告

西三河中分区

テーマ

学ぼう、郷土の歴史と日本の文化

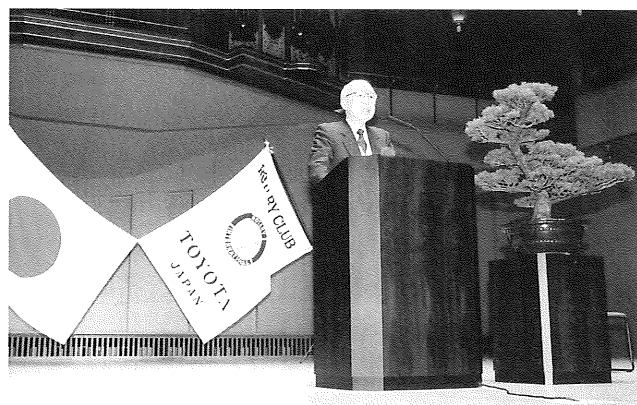
開催日 平成15年2月22日(土)
会場 豊田参合館
(コンサートホール・能楽堂)
主催者 ガバナー補佐 伊藤康司
ホスト 豊田ロータリークラブ
参加者 315名
参加クラブ 岡崎、豊田、岡崎南、豊田西、岡崎東、豊田東、岡崎城南、豊田三好、豊田中

文化の殿堂を会場に

今年パイプオルガンが設置されたコンサートホールを会場に、まずオープニングはバイオリンの演奏で始まり、開会式は佐々木実行委員長が「ロータリーの奉仕活動を考え、IMの目的とする都市間交流と会員同士の親睦を深め、実りある一日であることを祈念します」と挨拶をした。

またホストクラブを代表して豊田RCの斉藤会長は「次年度の三河地区のIMが中止されることは残念。各クラブは親睦と学習の場を作らねばならない」と提起した。

つづいて伊藤康司ガバナー補佐は「西三河中分区は矢作川流域都市として昔から歴史と文化の交流は深い。現代のロータリアンがこのテーマのもとに学び集うことは大変有意義」と強調した。そして岡部快圓ガバナーは「『地域の伝統文化を後世に継承しよう』という方針をIMのテーマに反映していただき、郷土の歴史と日本の文化を学ぶことによって、現代の価値観も理解



できる」と挨拶をされた。鈴木公平豊田市長も来賓挨拶として「鈴木正三の教えは子供たちにも普及させたい。行政としても正三ゆかりの石平恩真寺周辺の整備を進めたい」と述べられた。

正三の教えを今に…大切な職業倫理

文化講演は拓殖大学教授で、鈴木正三研究会長の神谷満雄氏が「郷土の偉人、鈴木正三と職業倫理」と題して、江戸時代初期の思想家で三河武士出身の禅僧鈴木正三の唱えた哲学は、日本経済の発展を支える「職業倫理」として現在も生きていますと講演し、ロータリアンの共感を呼んだ。



日本の伝統文化を狂言に学ぶ

能楽堂に会場を移し、野村小三郎師による「解りやすい狂言」のお話と、和泉流野村派12代当主野村又三郎師ほかによる「盆山」「千鳥」を鑑賞した。

交流ロビーで大いに語り合う

懇親会も大勢参加し、途中で帰る人の少ないIMをめざしたホストRCの念願が通じ、親睦交流の成果を挙げることができた。



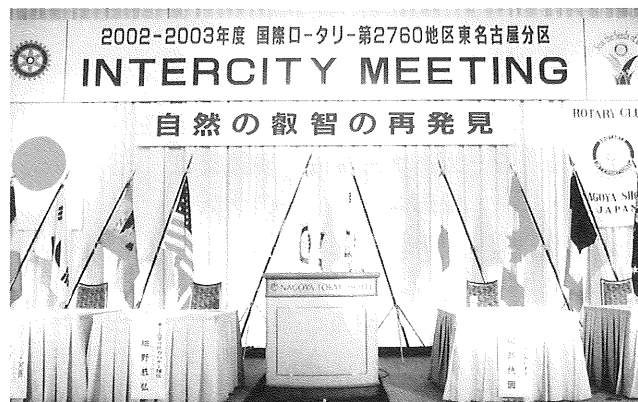
I.M.開催報告

東名古屋分区

テーマ

自然の叡智の
再発見

開催日 平成15年2月24日(月)
 会場 名古屋東急ホテル
 主催者 ガバナー補佐 細野恭弘
 ホスト 名古屋昭和ロータリークラブ
 参加者 特別出席者22名 会員577名
 参加クラブ 名古屋北、名古屋東、名古屋守山、
 名古屋和合、名古屋名東、名古屋名
 北、名古屋千種、名古屋昭和、名古屋錦、名古屋東山
 内容 講演 木村尚三郎
 (愛・地球博総合プロデューサー)
 「愛・地球博 その魅力を語る」



協賛により建設をする“ロータリー館”の概要に関して、2005国際博委員会委員長 内藤明人君より説明があり、2005年開催される「愛・地球博」への会員の熱意の高まりを再確認することができました。

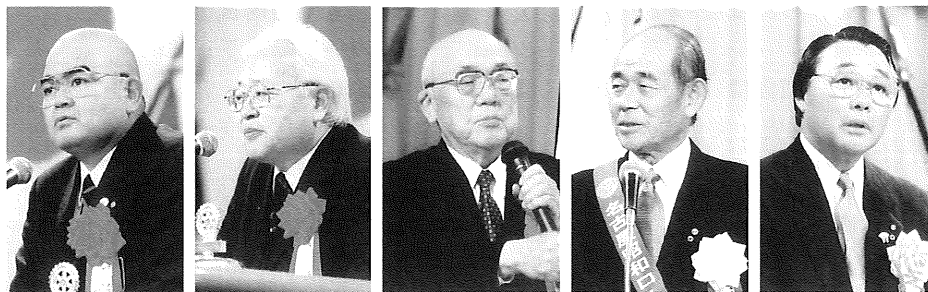
懇親会では久田錦三IM実行委員長の開宴の挨拶に始まり、会員相互の親睦を深め、楽しく語り合いながら有意義な時間を過ごしました。

今回のIM開催にあたり、各クラブ会員の多大なご支援に深く感謝いたします。

東名古屋分区の本年度インターシティ・ミーティングは、「自然の叡智の再発見」のIMテーマのもと、岡部ガバナーはじめ、多くの特別出席者、東名古屋分区10クラブ総勢577名の出席の下に盛大に開催されました。

「EXPO 2005 AICHI」の成功に向け、愛・地球博

総合プロデューサー木村尚三郎様に、「愛・地球博 その魅力を語る」と題して講演をいただきました。従来の国際博とは違



った新しい魅力ある博覧会の開催をめざし、21世紀の地球環境を深く考察し、自然との共生・環境問題等を新しい視点で語っていただきました。興味深い内容で、楽しく大いに共感を呼ぶ講演であり、愛知万博への認識を強くいたしました。

ふれあい広場においては、各地で作られた“ビオトープ”のパネル展示をし、自然の大切さ・不思議さを子供たちが実感、体験することにより、地球環境への意識が一層深くなることを強くアピールさせていただきました。



I.M.開催報告

東三河分区

テーマ

戦後教育を考える
—今、次世代に残すもの—

開催日 平成15年3月2日(日)
 会場 新城観光ホテル
 主催者 ガバナー補佐 本多克弘
 ホスト 新城ロータリークラブ
 参加者 267名
 参加クラブ 豊橋、蒲郡、豊橋北、豊川、田原、
 豊橋南、新城、渥美、奥三河、豊川
 宝飯、豊橋ゴールデン、田原パシフィック、豊橋東

新城らしさにこだわって

2003年3月2日午後2時、夜来の雨も上がり梅の花が満開の新城観光ホテルにおいて、岡部快圓ガバナーを始めとする特別出席者のご臨席をいただき、区内13クラブ総勢267名の会員の出席のもと2002—2003年度R I 第2760地区東三河分区インターシティー・ミーティングを開催致しました。

本年度のR I のテーマ「慈愛の種を播きましょう」岡部ガバナーの地区方針のあります「新世代に思いやりの心を」を踏まえて、本I.M.のテーマを「戦後教育を考える」—今、次世代に残すもの—と致しました。

基調講演は、新城市出身の元外交官で環境問題や国際政治に詳しい金子熊夫先生に「世界から見た日本の教育」と題してお話していただきました。始めに北朝鮮やイラク問題の話から、日本の防衛問題などの広範多岐にわたる話をいただき、本論としてこれからの日本の教育のあるべき姿を提言していただきました。

それを受けて、私がコーディネーターを務め、パネリストに昭和一ケタ生まれの代表として、豊橋商工会議所会頭で豊橋北クラブの会員である佐藤元彦氏、戦中生まれで宗教家の新城クラブ会員の佐藤泰惇氏、戦後生まれの代表として、全国高校駅伝に愛知県代表として5年連続出場という輝かしい成績を収めた選手の指導に当たられた、豊川工業高校教諭で新城市在住の渡辺正昭氏の3氏をお願いをして、それぞれの立場から今の若者像やこれからの教育などを経験を踏まえて



思いの丈を話していただきました。時間が足りなくて突っ込んだ話し合いはできませんでしたが、会場の会員の皆様には熱心にご聴講いただき感謝致します。ガバナー講評では、岡部ガバナーからもっとロータリーは教育に積極的に関って行く必要があるとのまとめをいただき、パネルディスカッションを締めくくっていただきました。

午後2時から3時間にわたり良く学べの時間でしたので、よく遊べの部分である懇親会も「新城らしさ」に徹底的にこだわりました。会場のディスプレイは竹を使いましたが、会員の製作による物です。食べ物も会員手作りのくるみや蜂の子を摺込んだタレの五平もち、新城の山で獲れた猪のしし鍋、新城ブランドの里芋八名丸、作手の汲み出し豆腐などを準備して皆様に十分召しあがっていただきました。新城が生んだバンド、リズムジョーカーズがなつかしのメロディーを演奏してくれました。

当クラブ会員の酒蔵で作られた朝日嶽で鏡開きをして始まった懇親会の会場からは夕闇せまる豊川が眼下に望まれ、会員の親睦交流の輪が広がり楽しい一時が過ぎて行きました。ガバナーや講師も最後までお付き合いをいただき、バンド演奏の「手に手つないで」に合わせて皆で合唱し、午後6時30分すべての日程を終了しました。

いなかのクラブで十分なもてなしもできず、また会場も手狭でご迷惑をおかけしたと存じますが、ロータリーの友情に免じてお許し下さい。

また、下嶋実行委員長を中心にI.M.の企画運営に尽力いただいた山本会長以下会員諸君のご協力に感謝申し上げ報告と致します。



I.M.開催報告

西尾張分区

テーマ

ロータリーとIT

開催日 平成15年3月8日(土)
 会場 ウェスティンナゴヤキャッスル
 主催者 ガバナー補佐 大森克孝
 ホスト 一宮北ロータリークラブ
 参加者 約400名
 参加クラブ 一宮、津島、尾西、稲沢、あま、西春日井、尾張中央、一宮北、一宮中央



特別出席者として、岡部ガバナー、豊島ガバナーエレクト、伊藤地区幹事、内藤国際博委員会委員長、西尾張分区担当浅井地区副幹事、次期田口ガバナー補佐の参加をいただき、午後2時、大森克孝ガバナー補佐の点鐘、水野実行委員長の挨拶、ホストクラブの林一宮北ロータリークラブ会長の歓迎のことばで開会されました。

積極的に利用を拡大していただきたい。

第一部として分区内9RCより、パソコンの利用状況、メリット、デメリット等、具体的な報告が行われ、どのクラブにおいても経費の節減には多大な効果が出ており、今後一層のパソコンの利用を拡大していきたいと報告がありました。しかしながら報告の中にもありましたが、会員すべてがパソコンができるのではなく、まだ半数近くの方があまり、生活、仕事の中でパソコンを使用していない状況であり、今後は一人でも多くの会員の方にパソコンの利用を広げていくのが大きな課題でもあります。

第2部としては、「企業の社会奉仕の実践例」として、大森石油株式会社のオーモリウインドアンサンプルの、日頃の地域社会において文化の振興に貢献している活動を、演奏会を通して理解しました。

岡部ガバナーより大変有益であり、また楽しいIMでありましたと講評をいただきました。

つづいて、次期ガバナー補佐、次期ホストクラブ林稲沢ロータリークラブ会長より挨拶がありました。

また、次年度地区大会を担当する、尾西ロータリークラブの都倉吾一実行委員長より、地区大会を成功させるためにもロータリアンの一層のご理解ご協力をお願いする旨、また最大級の参加をしていただきたいと要望がありました。

IMは以上で終了し、懇親会を催して親睦を深めました。



減少であり、各クラブの会員の維持、増強にがんばっていただきたい。本大会のテーマ「ロータリーとIT」は誠に時宜を得たものと思う。ITは情報の敏速な収集と伝達ばかりでなく、クラブ経費の削減にも大いに役立つものであり、実りあるIMとなることを期待していると述べられました。

つづいて大森ガバナー補佐は、今回のIMは実益があって肩の凝らないIMをめざして準備を進めました。各クラブにおいて事務の効率化にパソコンを使っているが、より一層の有効利用を図るためにも各クラブの有効な活用状況に注目し、



I.M.開催報告

東尾張分区

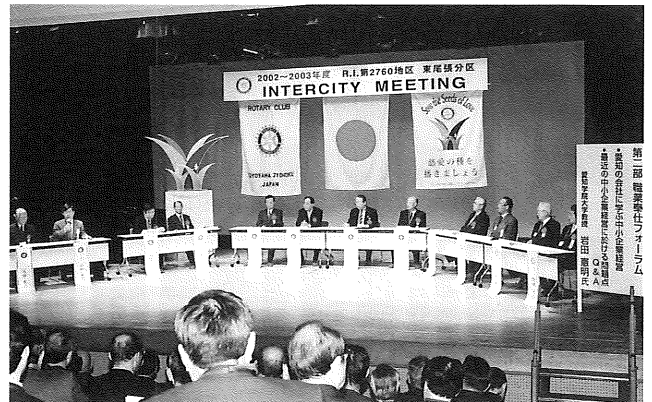
開催日 平成15年3月16日(日)
 会場 豊山社会教育センター
 主催者 ガバナー補佐 太田達夫
 ホスト 豊山-城北ロータリークラブ
 参加者 521名
 参加クラブ 瀬戸、犬山、江南、小牧、春日井、
 尾張旭、名古屋空港、瀬戸北、岩倉、
 豊山-城北、愛知長久手

「慈愛の種を播きましょう」と2002～2003年度も残すところ僅かとなりました。

後半最大の事業でありますI.Mも3月16日(日)豊山社会教育センターにおいて、無事終了いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

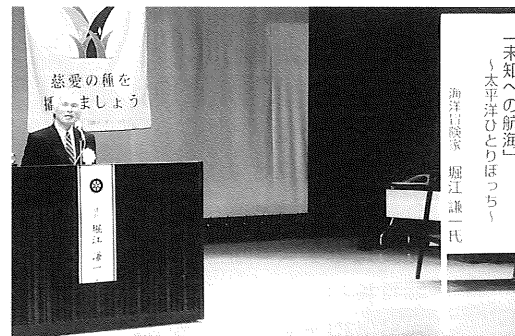
当日は岡部ガバナーをはじめ伊藤地区幹事、草野東尾張担当副幹事、また分区内のパストガバナー、パスト分区代理、パストガバナー補佐、区内11クラブの会長幹事をはじめとする総員521名の登録をいただき、盛大に開催することができました。さて、今年度のI.Mについては、岡部ガバナー提唱の百万弗例会にならない、簡素にして、内容のあるI.Mにしたい、登録料も一万円以内(実登録料8,000円)、内容もフォーラムと講演を入れるということで、榊原実行委員長と理事を中心とする委員会による検討がなされました。内容については最近の経済状況に鑑み、職業奉仕を取り上げることといたしました。フォーラムでは区内各クラブの職業奉仕委員会委員長を中心に、具体例をQ&A形式のパネルディスカッションで、愛知学院大学の岩田教授にご解説いただき、有意義な内容となりました。

また、第3部の講演では、冒険家の堀江謙一氏の勇気とパワーを感じていただこうと企画いたしました。氏の“まず行動 行動することによりおのずから開ける”という言葉は、大変示唆に富んだ話であったと思います。



ただI.Mの目的であります“研鑽と親睦”の親睦については、公共施設においての使用制限があり、ご不便をおかけしたと思いますが、クラブ一丸となつてのサービスに、ご満足いただけたか心配の残るところでございます。皆様のご友情でお許しいただければと存じます。

なお皆様から頂戴しました登録料より、金百万円を東尾張地区として、ポリオに寄贈いたしました。また内藤パストガバナーには2005国際博覧会委員長として、万博のご報告とロータリーの万博に対する協力要請があり、特に東尾張分区は開催の中心となる大事業なので、皆様のご協力をお願いしたいと存じます。当初、ご挨拶で申し上げたI.M漢字変換の“愛 笑”になりましたが、どうか残された期間においてもロータリー活動にご尽力下さい。



最後になりましたが、岡部ガバナーはじめ、伊藤地区幹事、草野副幹事のご指導に、また各クラブの会長、幹事、会員の皆様に感謝申し上げます。





一宮北ロータリークラブ 創立40周年記念

日時 平成15年3月14日(金)

場所 一宮商工会議所3Fホール

例会場であります一宮商工会議所3Fホールにおきまして、岡部快圓国際ロータリー第2760地区ガバナー、伊藤宏地区幹事、大森克孝ガバナー補佐はじめ西尾張分区の各クラブの代表の方々他ご来賓、関係者、当クラブ会員の出席のもと、創立40周年記念例会を開催いたしました。

一宮北クラブは1963年3月15日、一宮RCをスポンサークラブ、森常保氏を特別代表として会員30名で発足し、現在は63名の会員です。

創立40周年式典は物故会員への黙祷の後、林岡成会長の来賓紹介及び挨拶、橋本坦創立40周年実行委員長挨拶、記念事業紹介並びに岡部ガバナーへの目録贈呈と引き続き来賓祝辞として岡部ガバナーのご挨拶を頂きました。



式典の挨拶の中で林岡成会長、橋本坦実行委員長ともに当クラブにはチャーターメンバーの5名が今も元気にクラブ発展に貢献されていることを欣快に思い、青少年問題、環境問題に対する奉仕へのさらなる拡大、また40周年という記念の年に当

クラブとしては4人目の西尾張分区ガバナー補佐として大森克孝会員を、また2003～04年度の第2760地区

ガバナーとしてチャーターメンバーの豊島徳三会員を輩出できたことは、40年間のクラブの総合力の現れであるし、今後次なる節目の50周年をめざし、さらなる発展を期したいと決意を表した。

ついで祝宴に入り、スポンサークラブ一宮RCの土川保夫会長より祝辞

を頂き、大森克孝ガバナー補佐の乾杯の音頭で懇親会が和やかなうちに執り行われました。



40周年記念事業

1. ロータリー米山奨学会に50万円寄付
2. ロータリー財団に50万円寄付
3. ポリオ撲滅基金に9,450ドル
(150ドル×クラブ会員数63名)の寄付



米山奨学期間修了者歓送会

および

指導教官感謝の会

平成15年2月28日(金)

於 ホテルキャッスルプラザ

地区米山奨学委員会

委員長 藤本 博之

豊島ガバナーエレクトのユーモアたっぷりの挨拶で一気になごやかな、盛り上がりを見ました。つづいて加納米山奨学会理事の米山を知り尽くした味わい深い挨拶があり、奨学生、カウンセラー、指導教官そして地区米山奨学委員の出席者全員に深い感銘を与えました。

そして、奨学生ひとり一人に終了証がガバナーエレクトから手渡され、つぎにカウンセラーにも一人一人に感謝状が渡されました。

米山奨学期間は、4月～3月ですから本来は3月下旬に行うべきだと思いますが、例年3月になると奨学生の出席が悪く

なるという事情があって、2月末から3月始めに開催するのが例年の慣わしになっています。

16:00の開会から、セレモニーが約1時間、そこで一息いれて懇談会になりました。この懇談会は参加者が思い思いに会話をする時間もありますが、奨学生・カウンセラー・指導教官の3人一組で壇上に上がり、それぞれスピーチをいただくことになっています。

毎年、このときは「米山をやってよかった」と思われます。奨学生から感

謝の言葉がいただけますし、カウンセラーからも「たのしかった」と言っているだけです。そして何よりも指導教官から「ロータリーさん すごいことをやってみえますね」といわれると本当に嬉しいものです。

出席者全員を紹介したいのですが、思いつくまま数人を紹介します。

○春日文明(名古屋和合) カウンセラー
サイ タイハウ君

奥村隆平教授

○上田和雄(名古屋中) カウンセラー

李 正連君

牧野篤助教授

○高木博(江南) カウンセラー

任 ヒョンス君

近藤健二教授

○近藤俊彦(名古屋東山)

カウンセラー

趙 員立君

梅垣邦胤教授

○水野勤(名古屋東)

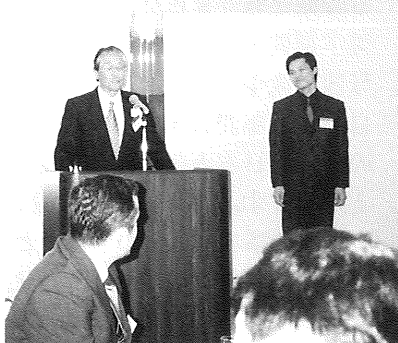
カウンセラー

庄 兵君

竹内弘行教授

の方々の3人それぞれが持ち味豊かなスピーチでした。

2003学年度は選考も終わり、新奨学生30名、継続奨学生12名、CY奨学生7名、SY奨学生1名、の合計50名の奨学生を当2760地区がお世話することになっています。世話クラブ、カウンセラーの方々のご協力をお願いいたします。



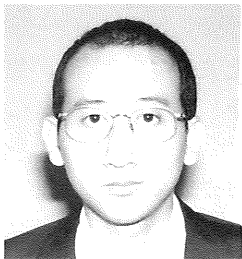
e n a u e t e

米山奨学生 アンケート

NO.3

当地区では我々が応援する43名の米山奨学生が頑張っています。その皆さんに昨年末下記のアンケートをしました。順次ご紹介します。(以下、敬称略)

- ①生年月日、年令
- ②母国名
- ③世話クラブ名及びカウンセラー名
- ④通学大学、専攻(主たる研究)
- ⑤来日前に持っていた日本のイメージと来日後の日本の印象
日本に来てうれしかったこと、日本に来て戸惑ったこと。
奨学期間終了後、どんな将来計画をお持ちですか。



バアパオ リーワメン

- ①1979年12月20日、22歳
- ②ラオス
- ③豊橋東RC、伊藤一義
- ④豊橋技術科学大学 エコロジー工学課程 3年生、研究は

来年の4月からはじまるので、研究のテーマは今のところまだ決まっておりませんが、環境分野に関する研究テーマにしていきたいと考えています。

- ⑤来日前に思ったことについて、まず、日本人はまじめな人で、テレビでよく見たドラマの中では、日本人の女性の皆は着物を着るのがいつもだと思っていましたが、実際に日本に来て、ビックリしたことは皆着物を着いていなかったことや、東京や大きな都市では若い若者が金髪をしている姿です。

来日後に実感したことは、まず、日本は世界中で最も安全な国だと言えます。また、日本人はお祭りが好きで(特にカラオケ、漫画)、非常に丁寧な言葉を使っているのが印象的です。特に、日本は高度な技術を持ち、優れた科学者や研究者がたくさんいることが凄く実感しました。うらやましい事に日本の子供の皆は良い教育を受けられることです。

日本に来て嬉しかったことはたくさんありました。一つはたくさんの日本人の友達ができただけです。特に、日本で初めて海を泳げ、雪を見て、触ったとき本当に嬉しかったです。また、何よりこの4年間多くの先生方々、地元(福井県鯖江市ならびに豊橋市など)の方々ならび豊橋東ロータリークラブ会長をはじめ、ロータリーアンの方々とお会いすることです。今は困ったことはありませんが、4年前に振り返って見れば、結構困ったことがありました。母国(ラオス)では、列車はありませんが、テレビや新聞な

どでしか見たことがありませんでした。初めて日本に着いたとき、どうやって電車に乗るのか本当に困りました。正直にいいますと、乗るより降りるのがわかりませんでした(何回か間違った駅に降りた経験がありました)。その他、やっぱり日本語が全然わかりませんでしたので、買い物や日本人と会話するのが大変でした。しかし、今では日本での生活に慣れ、たくさんの日本人の友人や留学生の友人ができたので、なんとか楽しい毎日を送っています。特に、勉強はだいぶ慣れてきましたので、昔に比べて勉強する時間が減りました。今では楽しく頑張っています。奨学期間終了後の予定について、私の夢は、将来、母国の大学において、大学の教官になりたいです。自分が長年間日本で学んだ専門知識をはじめ、日本の文化や日本人の習慣などをラオスの若者たちに伝えたいです。特に、研究を通じて社会に貢献できるような仕事をやっていきたいと思います。そのため、大学を卒業後、大学院へ進学し、さらに、より高度な教育や研究の知識を獲得するため、博士課程まで進学したいと考えています。



パッタモン ジャンミシー

- ①1979年4月4日、23才
- ②タイ
- ③豊橋ゴールデンRC、宮川嘉郎
- ④豊橋技術科学大学 情報工学課程
- ⑤日本に来たらサムライや忍者に会えると思っていたが、それは昔の存在でした。日本に来て感じたことは、一年中日本全国のどこかで行われているお祭りの存在で、科学技術の先端をいく日本が忘れがちな伝統を守ろうとする精神は素晴らしいことだと

思いました。最近の日本の若者は服装も考え方も個性的な人が増えています。それなのに成人式など特別な日や祭りのときには、みんなが伝統衣装を着て参加するのを見ると、現代人に欠けている愛国心や民族の同一性といった一昔前の日本を感じました。また、国を発展させることと同時に環境のことも大切にしていることが素晴らしいことだと思います。ごみ分別もリサイクルも充実しています。

日本に来て嬉しいことは、他の国の社会を見たり、いろいろな文化や伝統を経験したり、自分の視野を広げることができることです。ロータリーの例会で知り合った人が私に陶芸の先生を紹介して下さいました。その方はとても心の優しくて暖かい方です。家族から離れて留学生生活をしている私にとって、その方のことを本当の自分のお父さんのように思っていました。出会えたことが嬉しいです。戸惑ったことは、慣れない冬の生活や日本語の壁でした。日本語がまだ話せない時は日本人の友達があまりいなくて寂しかったです。

今年で奨学金期間が終了してしましますが、大学院まで勉強を進みたいので、この後はアルバイトなどをして頑張っていきたいと思います。



金 如根

- ①1965年7月30日生、37歳
- ②中国
- ③名古屋守山R C、橋本浩一
- ④名古屋大学大学院法学研究科、法律政治学(行政法)専攻

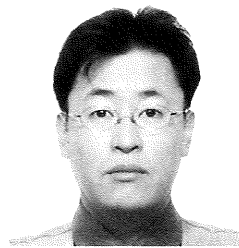
⑤私が日本を知り始めたのは、中学一年生のときであった。ちょうどそのとき、中国においては「文化大革命」が終わり、国の政策が「改革、開放」という経済建設最優先の政策に移り、日本を含む資本主義先進諸国から、先進的な科学技術、経営方式、文化等を学ぶというブームが形成されました。

かような国の政策的転換の一つとして、中学校から日本語の課目が外国語として設置され、日本語の先生から日本語及び日本の文化、政治、経済の知識を学ぶようになりました。来日前の日本語の勉強、日本映画の観覧、日本に関するマスメディアの報道、日本人留学生との交流を通じて、私は、日本という国は経済大国であり、美しくて奇麗な国(環境保護先進国)であり、日本民族は勤勉で礼儀正しい民族であると思いました。中国人民大学大学院法学研究科に在学中、同研究科に留学中の日本人留学生のご紹介で名古屋大学に留学するようになったが、日本

に来て受けた印象として、日本は環境がいい国であったことでした。中国では一日でも外へ出かけた後は埃だらけになるので靴を磨かなければならないが、日本では一年中、靴を磨かなくても大丈夫であった。水もととても奇麗で、生水をそのまま飲んでもお腹を壊すことはなかった。更に、大学の留学生担当の先生と教務係の職員はやさしく、丁寧に学生を迎えてくれました。買い物とか公衆の場所に行ってみても店員はお客様にすごく丁寧で、やさしかった。日本に来てから一年後、中国へ一時帰国して北京のあるホテルに泊まったことがあるが、ホテルのサービスが悪くて気持ちが悪かった。

日本に来て戸惑ったことは、一年間の研究生課程を修了し、大学院入試のため書類を出すとき、自分のミスで書類を間違えて記入し、先生にご迷惑をかけたことでした。そのとき、びっくりしましたが、ありがたく大学は留学生としてはありうるミスと判断し(名古屋大学では政治学科、国際政治学科が法学部に設置されており、行政法学の専攻を政治学科として分類している)、入学を認めてくださったのでした。

奨学期間終了までに頑張っ学位を取得して、できれば日本或いは中国の大学か研究機関に就職して研究を続けて参りたいと思います。



鄭 滢教

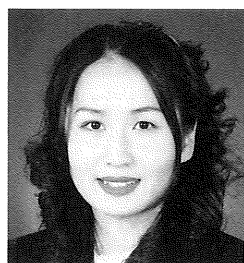
- ①1974年2月16日、28才
- ②大韓民国
- ③豊橋R C、大竹慶子
- ④豊橋技術科学大学、機械・構造システム専攻

⑤日本に留学に来る前は日本の情報は書店に出ている本の知識と学校で習った歴史の知識位しかなかった。日本人はコツコツ働くことが好きだとか小型のモノを作る能力に優れているとか…しかし、来日して10年が経った今は韓国と変わらない気がする。勿論、国民的情緒や習慣、風習は違うけど、同じ人間だと言うことに変わりはないことである。住めば都という諺もあるように、日本にすっかり馴染んでいる私にとって、もはや日本は第2の故郷に思える。

日本に来てうれしかったことは、なによりも勉強のできる環境を提供してもらったことであろう。私の大学が特殊なことも事実であるが、実験設備も充実しているし、大学のシステムも学生を十分サポートしている。

日本に来て戸惑ったことは、日本人独特の「本音と

建前」である。今もこの区別がよくわからないのが現実である。上手く使えば、相手を傷つけない有効な意思疎通の手段でもあるが、ちょっと間違えば信頼性を疑う原因にもなりかねないからである。私の場合は他の奨学生と違って、国に帰らなければならない。韓国には兵役の義務があるからである。個人的な希望としては博士課程終了後も大学で研究を続けたい気持ちはあるが、残念ながら叶わない夢でしかない。でも決して韓国の制度に不満を持っているわけではない。私に与えられた義務を果たしてからは、日本と関わりのある会社に就いて日本で習ったことを生かせる仕事をしたいと思う。

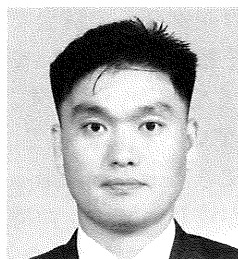


任 炫樹

- ①1972年7月17日、30才
- ②韓国
- ③江南R C、伊藤文仁
- ④名古屋大学大学院、日本語文化（日本語と韓国語の対照研究）

⑤幼い頃から歴史時間と地理時間が好きだった私が古代から韓国と密接な関係にあった日本に興味を持つようになったのは当然のことかもしれません。大学に入る前は「いろいろな技術と文化を日本に伝えた韓国がどうして日本の植民地になったのか」などの問題に引っ掛けていました。しかし、大学で日本語を専攻するようになってからは日本の文化・日本人の思想・日本語そのものに関心を持つようになりました。大学2年の頃、初めて日本を直接肌で感じて受けた新鮮な衝撃は未だに忘れることができません。日韓の友情の架け橋になろうと決心した時期もその頃でした。そのためには日本についてもっと詳しく理解しておく必要があり、自分の実力も向上させなければならないと判断し、留学を決心しました。日本に来てからは、日本の子供たちに韓国について少しでも分かってもらおうと日本の小学生と触れ合う時間を設けました。その都度、戸惑ったことがあります。それは子供たちから返ってくる質問の内容でした。無邪気な子供たちから「韓国人は日本人が嫌いだと聞きましたが、それって本当ですか。」と質問を受けた時、正直に言って辛かったです。「そうじゃない」「違よ」と事情を説明するとそれを聞いていた子供たちの顔からは微笑がこぼれました。最近博士論文の執筆のため、子供たちと触れ合う時間を設けることがなかなか難しいのですごく残念です。博士学位を取り、韓国へ帰ったら大学で日本語や日

本文化を教えたいと思っています。これからの人生は今までよりもっと長く日本と一緒に生きて行かなければなりません。その時は、江南ロータリーの皆さんと学友会の皆さんと触れ合ったことがいろいろ役に立つと思います。留学時代、米山奨学生になったこと、そして江南ロータリーの皆さんに出会えたことは私のプライドでもあり、最高の喜びでもあります。この場を借りて、感謝の言葉を申し上げます。本当にありがとうございます。



李 庚晃

- ①1971年8月13日、31歳
- ②韓国
- ③あまR C、岡本重未
- ④名古屋大学、工学研究科材料プロセス専攻、プラズマプロセスによる炭素系薄膜の作製と機能評価

⑤早いもので、2002年も既に12月を迎えた。来日して僅か二年であるが、今年は私個人にとって、大変意義のある年であったと実感する。特に、今年の4月から米山奨学生となり、様々な分野で活躍しているロータリアンの皆様と知り合えたことが大変な喜びである。奨学金としての学費支援だけでなく、たくさんの希望・夢を与えていただいた。実際は奨学生になる前までは、ロータリークラブがどのような団体であるかを詳しくは知らなかった。学資支援の団体であるかと捉えていたのだが、毎月の例会を通して、ロータリークラブの意義を自分なりに理解できるようになった。”慈愛の種を播きましょう”というロータリークラブのスローガンは私の心に大きく響く。自分中心の考え方を改めさせ、私自身に慈愛の心は備わっているのかと問いただすようになった。社会奉仕活動もその一つである。これまでの私にかけていた部分でもある。なかでも、日本を含めた7カ国の障害者が集まった、名古屋シティハンディマラソンへのボランティア活動では、大学での研究とは異なる非常に貴重な体験ができた。この活動を通じて、ほんの少しかもしれないが、慈愛の心が垣間見えた気がする。あと1年、大学での研究・学業を成就することも重要であるが、それだけでなく、ロータリークラブの精神を培っていきたい所存である。最後に、私を支えてくれる人々や環境に今年一年の感謝を表します。

社会奉仕委員長会議

日時／2003年2月21日(金) 於／ホテルキャッスルプラザ

地区社会奉仕委員会 委員長 園原 宏治

2003年2月21日(金)、ホテルキャッスルプラザにて、社会奉仕委員長会議を開催いたしました。

はじめに岡部ガバナーより、RIテーマ「慈愛の種を播きましょう」についての話があり、前期に播いた種は、もう芽を出し花が咲いたことを、本日は実感できることを楽しみにしていると話されました。

委員長の開会の挨拶後、各委員より情報を提供し、会議のイベントに入りました。3クラブの奉仕活動の発表でした。

はじめに名古屋空港RC、波多野委員長の報告です。県内の身障児を対象とした「招待飛行」の実施と、春日井コロニー祭への参加をスライドで紹介されました。二人目は名古屋西南RC、池井戸委員長の発表です。盲導犬育成事業、青少年の育成と広範囲の奉仕活動を報告され、次に豊橋RCの三木委員長が、アフガニス

タンへの教材寄贈をスライドを使って発表されました。

3クラブとも綿密に計画を練

って奉仕活動に臨まれ、クラブ全員で協力し、会員が得意な分野を受け持ち成功を収めることができた。そして最も大事なことは、学生、市民にも参加していただき、奉仕の重要性を知ることが大切なことであると思います。もちろん発表されていないクラブでも素晴らしい活動をされていると思います。

ロータリー創立100周年は2005年2月23日にあたります。社会奉仕プロジェクトは、'03年7月1日まで延期され、各クラブで協議され素晴らしい事業がございましたらRIまでご登録ください。



第8回 地区インターアクトクラブ顧問・委員懇談会報告

日時／2003年2月22日(土)

於／名古屋YMCA

出席者／40名

地区インターアクト委員会

副委員長 堀井 武

顧問の先生と提唱ロータリークラブ委員との懇談会が2月22日(土)名古屋YMCAにおいて出席者40名で開催されました。

インターアクトの活動は高校生が主体であるため、彼らの活動しやすい時期すなわち夏休み前半に限られてきます。



国際ロータリー第2760地区
第8回 インターアクトクラブ顧問・委員懇談会



それゆえ、2大事業インターアクト協議会(7月20日)、海外研修(7月24日～8月2日)がこの時期に集中して行われるため、他の委員会は事業も終盤でほっと一息を付いてみえることと思いますが、我々はこの会合が、次年度の事業を成功に導く大事なものと考えています。

会議に入り、本年度13回協議会を担当された桜花学園高校の河合先生より報告がなされ、その後、次年度担当の尾関学園より内容について説明がなされました。会場は小牧勤労センター(この3月名鉄小牧線が地下鉄と接続するため便利になるとの事)テーマは「思いやり」、皆さんの参加宜しくお願いします。次に、海外研修についての説明がなされ、最後に各インターアクトクラブ(一宮女子高、光ヶ丘高、千種高)の活動、悩みが報告が行われ、その後、部屋を移し会食懇談が行われ顧問、ロータリアンとの懇親が深められた。

第5回 地区諮問委員会

日 時 2003年3月29日(土) AM11:00

場 所 名古屋グランドホテル 11F 桐

出席者 奥谷PDG 田中PDG 盛田PDG 加納PDG
神戸PDG 石川PDG 松本PDG 内藤PDG
野村PDG 福田清PDG 太田PDG 岡部DG
豊島DGE

オブザーバー

伊藤地区幹事 堀江地区副幹事
横井地区副幹事 瀧次期地区幹事

欠席者 森PDG 福田浩PDG 宮地PDG 蜂谷PDG

岡部ガバナー挨拶

IMが3月16日東尾張分区分を最後にすべて終了しました。それぞれの分区分において有意義な特徴のあるIMを開催できたことに、お礼を申し上げます。

3月22日からGSEが行われ現在9520地区へ行っております。丁度イラク戦争が勃発したときでしたので、心配しましたが、RIはじめ各関係者と連絡を取り出発しました。私も9520地区の地区大会に出席のため4月2～8日までオーストラリアへ行ってきました。その際当地区の山火災のお見舞金約100万円を贈呈してまいります。

新しいクラブ大府RCが誕生し6月29日にチャーターナイトが開催されます。

今年度も残り3ヶ月になり、各賞の選定して最後の仕上げにはっております。

協議事項

1. 次年度地区役員および委員会委員 変更について
2. 次年度国際博委員会 増員について
3. その他

報告事項

1. 2002～2003年度 地区大会決算報告
2. 大府ロータリークラブ創立総会および
会長エレクト、幹事、事務局案内
3. 意義ある業績賞 選考結果
4. GSE派遣の詳細について
5. その他

DDFプログラム選択会議

日時 平成15年2月17日(月) 場所 地区事務所

地区ロータリー財団委員会 副委員長 鈴木孝則

会議に先立ち、岡部快圓ガバナー、豊島徳三ガバナーエレクト、石川地区R財団委員長の挨拶があり、議事次第に移った。

議題：大島ガバナー年度のためのDDF会議

石川敬議長から、太田年度寄付による計算基礎(収入)の説明があり、質疑に入り、別紙の通り決定した。

- (1)人道的分野：昨年度RI財団管理委員会は、新プログラムとして「地区補助金プログラム」を創設し、その担当委員会の設置を要請、2003年7月1日より実施するとの決定に従い、地区として、各クラブに「地区補助金プログラム」の活用を強くPRすることとした。
- (2)教育的分野：中北奨学委員長から奨学生の応募者が年々減少している旨報告があり、募集人員の削減も検討されたが、結論として、募集方法に工夫をして通常の募集をすることとした。



- (3)研究グループ交換プログラム：深谷委員長より、「同一年度中に、送り出しと受け入れをした方が望ましい。」との発言があり、大島ノミニの方針を確認してから予算化する事とした。後日確認したところ、出費を抑えるという事で隔年方式を継続することとした。

- (4)寄贈分野：平和奨学金への寄贈について、継続か廃止かで意見交換されたが、ロータリーの使命を考慮し、「継続」を決定した。

- (5)他地区寄贈：ジャパン奨学金は「次年度(豊島年度)をもって終了する。」こととした。

締めくくりに、野村重彦カウンセラーより

- (1)時代と環境の変化の中、抜本的な配分方法の見直しをする。
 - (2)各クラブR財団委員長を、3年任期としてはどうか。
- というコメントがあった。

米山特別寄付報告

■1月分

ク ラ ブ 名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件 数
知 多	300,000			300,000	1
一 宮		1,440,000		1,440,000	48
尾 張 旭		30,000		30,000	1
名 古 屋 南		1,010,000	300,000	1,310,000	34
名古屋みなと		50,000		50,000	1
名古屋瑞穂		210,000		210,000	7
名古屋栄		330,000		330,000	11
名古屋北		300,000		300,000	1
岡 崎		80,000		80,000	4
岡 崎 南		20,000		20,000	2
豊 田 東		120,000		120,000	4
刈 谷	89,000	20,000		109,000	3
西 尾		210,000		210,000	7
合 計	389,000	3,820,000	300,000	4,509,000	124

■2月分

ク ラ ブ 名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件 数
瀬 戸		150,000		150,000	1
名 古 屋		130,000	50,000	180,000	4
名古屋中		600,000		600,000	20
名古屋東		50,000		50,000	1
蒲 郡		80,000		80,000	2
豊 橋 東		80,000		80,000	5
岡 崎		50,000		50,000	5
岡 崎 南		20,000		20,000	2
豊 田 西		330,000		330,000	2
岡 崎 東	11,636			11,636	1
豊 田 中		900,000		900,000	8
合 計	11,636	2,390,000	50,000	2,451,636	51

ポール・ハリス・フェロー

■1月分

鳥澤 康弘 (名古屋大須)	西川 広義 (名古屋大須)	水野 吉樹 (知立)
藤田喜一郎 (蒲郡)	畑川 韓雄 (蒲郡)	小島 文男 (東知多)
清 克行 (西尾KIRARA)	米津 長治 (西尾KIRARA)	山本 寿仁 (岡崎城南)
箕輪 良孝 (尾張旭)	伊藤 文雄 (名古屋みなと)	金子 暁男 (名古屋みなと)
大久保 肇 (田原パシフィック)	加藤 武紀 (田原パシフィック)	河合 健一 (田原パシフィック)
富永 潤 (田原パシフィック)	彦坂 雄三 (田原パシフィック)	神保 成章 (名古屋東南)
下谷 七郎 (西尾KIRARA)	佐藤 敬治 (津島)	足立 恒一 (名古屋錦)
河合 勇夫 (名古屋昭和)	馬場 駿吉 (名古屋南)	伊藤 與朗 (名古屋栄)
長瀬 諭 (名古屋栄)	中村 保 (名古屋東南)	

■2月分

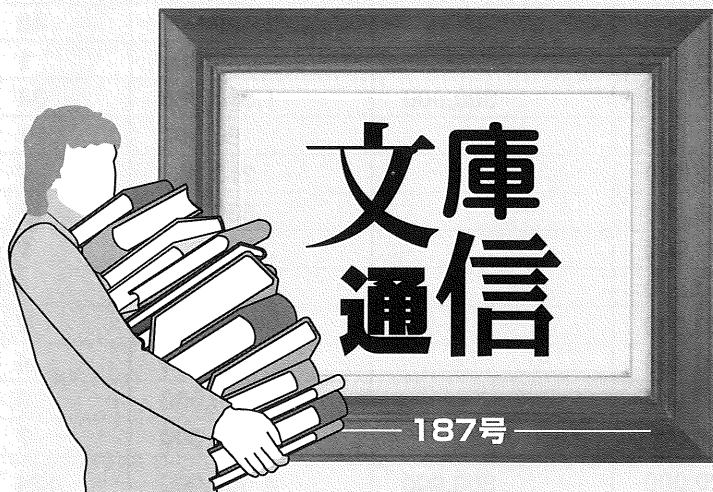
彦坂 育甫 (渥美)	中井 民雄 (半田南)	盛田 豊一 (刈谷)	村瀬 忠雄 (名古屋)
富田 英之 (名古屋)	西川 博 (名古屋西南)	鈴原 孝 (名古屋西南)	安藤 幸司 (岡崎南)
桜井 博 (豊田中)	和泉 房枝 (豊田中)	小野 朝康 (豊田中)	福岡 輝夫 (豊田中)
中垣 幸春 (豊田中)			

新しい仲間

中野 喜之（豊田三好）
竹内 敬雄（東海）
湯川 勇（三河安城）

千田 典人（犬山）
祖父江寿男（犬山）
竹内 幹尚（豊川）

奥本 文也（名古屋千種）



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして、1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

ロータリーを理解するために

◎「わがロータリーへの道（抄録増補版）」

ポール・ハリス著；鈴木徹・竹山涼一・若佐武司共訳 札幌南RC 1996 126p

[申込先：札幌南RC FAX (011) 222-2744]

◎「奉仕理念の提唱者

アーサー・フレデリック・シェルドン」

田中毅 2002 85p

[申込先：芦屋川RC FAX (0797) 32-6888]

◎「英知と名言（抄訳）」

秦野RC 1998 55p

[申込先：ロータリー文庫（コピー）]

◎「これからのロータリー活動」

齊藤博 2003 7p（横浜南RC卓話）

[申込先：ロータリー文庫（コピー）]

◎「ロータリーへのご案内」

長岡成郎 2001 43p

[申込先：長岡成郎 FAX (0480) 33-4728]

◎「純ちゃんのコーナー（ロータリー3分間情報）」

深川純一 伊丹RC 2002 28p

[申込先：伊丹RC FAX (072) 775-1223]

◎「ロータリー・チャンネル」

長崎南RC 1992 44p

[申込先：ロータリー文庫（コピー）]

◎「新会員のためのロータリー用語」

小林茂 鷹巣RC 2002 45p

[申込先：小林茂 FAX (0185) 54-2324]

◎「小さなクラブの会長時間『点鐘』」

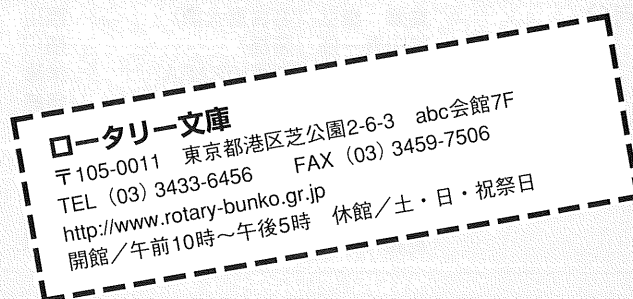
福山丸之内RC 2002 81p

[申込先：福山丸之内RC TEL (084) 927-5252]

◎「藍壺先生と言う人 米山梅吉物語」

内藤茂雄 米山梅吉記念館 2002 40p

[申込先：米山梅吉記念館 FAX (055) 989-5101]



訃報 謹んでお悔やみ申し上げます

平松 数郎 様（名古屋大須） 大嶽 乙茂 様（安城） 山脇 一矩 様（高浜）

会員数及び出席報告 (平成15年3月分)

区分	クラブ名	会 員 数		入会		退会		例 会 数	3月 出席率	女 性	
		2002年 7月1日	2003年 3月末日	3月	累計	3月	累計				
南尾張 分 区	半 田	70	71	0	2	0	1	4	100.00	4	
	常 滑	59	60	0	4	0	3	3	92.81	0	
	東 海	55	55	1	2	0	2	3	95.76	3	
	東 知 多	62	32	0	1	22	31	4	97.22	0	
	半 田 南	58	56	0	2	0	4	4	96.15	1	
	知 多	36	36	0	4	0	4	5	92.77	0	
	6RC	340	310	1	15	22	45	23		8	
西尾張 分 区	一 宮	80	80	0	3	0	3	4	99.64	0	
	津 島	80	81	2	3	0	2	2	100.00	1	
	尾 西	42	40	0	0	0	2	4	97.50	0	
	稲 沢	65	61	0	0	1	4	4	95.16	0	
	あ ま	93	90	0	3	2	6	5	97.20	0	
	西春日井	40	41	0	3	0	2	4	100.00	2	
	尾張中央	51	50	0	0	0	1	4	96.60	0	
	一 宮 北	63	63	0	2	0	2	3	97.53	0	
	一宮中央	64	61	0	3	1	6	4	96.31	5	
9RC	578	567	2	17	4	28	34		8		
東尾張 分 区	瀬 戸	82	83	0	3	0	2	4	100.00	4	
	犬 山	84	86	2	3	0	1	4	99.66	0	
	江 南	67	67	0	4	0	4	3	91.57	1	
	小 牧	70	75	2	7	0	2	4	90.61	1	
	春 日 井	80	77	0	1	1	4	3	100.00	4	
	尾 張 旭	46	41	0	1	0	6	3	98.38	0	
	名古屋空港	54	55	0	3	0	2	4	98.38	0	
	瀬 戸 北	74	73	0	0	0	1	4	100.00	3	
	岩 倉	27	24	0	0	0	3	4	97.92	0	
	豊山ー城北	35	36	0	4	0	3	4	93.87	1	
	愛知長久手	20	22	0	2	0	0	4	90.50	2	
	11RC	639	639	4	28	1	28	41		16	
西 名 古 屋 分 区	名 古 屋	197	204	0	19	5	12	4	93.16	0	
	名 古 屋 西	118	117	1	8	4	9	4	93.35	0	
	名古屋南	121	123	0	9	0	7	3	99.19	0	
	名古屋みなと	99	95	0	2	0	6	3	100.00	0	
	名古屋東南	81	81	0	5	0	5	4	93.81	5	
	名古屋中	145	143	1	2	1	4	5	99.13	0	
	名古屋瑞穂	81	79	0	2	1	4	3	97.81	0	
	名古屋大須	68	68	0	2	0	2	3	97.85	0	
	名古屋栄	80	77	0	3	2	6	5	97.41	0	
	名古屋名駅	101	102	2	8	2	7	4	96.41	2	
	名古屋名南	80	83	0	3	0	0	4	100.00	14	
	名古屋西南	55	54	0	6	0	7	5	98.50	9	
	12RC	1226	1226	4	69	15	69	47		30	
	平均出席率		79	96.35							

区分	クラブ名	会 員 数		入会		退会		例 会 数	3月 出席率	女 性
		2002年 7月1日	2003年 3月末日	3月	累計	3月	累計			
東 名 古 屋 分 区	名 古 屋 北	105	102	0	3	1	6	3	99.56	0
	名古屋東	98	93	0	2	1	7	4	90.67	0
	名古屋守山	69	68	0	4	1	5	4	93.55	6
	名古屋和合	99	100	0	4	0	3	4	100.00	0
	名古屋名東	75	71	1	1	0	5	4	100.00	5
	名古屋名北	56	52	0	0	0	4	4	98.03	7
	名古屋千種	69	69	1	4	1	4	4	95.38	6
	名古屋昭和	71	68	0	2	1	5	5	99.34	0
	名古屋錦	41	41	1	1	0	1	4	91.02	8
	名古屋東山	58	64	0	6	0	0	4	94.84	1
10RC	741	728	3	27	5	40	40		33	
東 三 河 分 区	豊 橋	118	120	0	4	0	2	4	97.04	4
	蒲 郡	68	68	0	1	0	1	3	92.89	0
	豊 橋 北	105	105	1	2	0	2	4	96.81	2
	豊 川	75	76	1	3	0	2	4	98.37	0
	田 原	70	68	0	2	1	4	3	91.27	1
	豊 橋 南	68	67	0	1	1	2	4	97.21	0
	新 城	68	67	0	0	0	1	4	93.56	0
	渥 美	43	41	0	1	0	3	4	88.89	0
	奥 三 河	35	31	0	0	0	4	2	91.10	3
	豊川宝飯	58	58	0	3	0	3	3	98.72	0
西 三 河 中 分 区	豊橋ゴールデン	71	70	0	1	0	2	3	91.49	0
	田原パシフィック	71	72	0	3	1	2	4	94.82	0
	豊 橋 東	51	49	0	0	0	2	4	100.00	0
13RC		901	892	2	21	3	30	46		10
西 三 河 分 区	岡 崎	109	102	1	5	4	12	4	99.47	1
	豊 田	85	89	0	8	0	4	3	99.03	0
	岡 崎 南	108	109	0	4	0	3	3	98.77	3
	豊 田 西	97	101	0	5	0	1	4	99.45	0
	岡 崎 東	90	90	0	4	0	4	4	97.73	1
	豊 田 東	85	80	0	0	1	5	4	96.65	0
	岡崎城南	75	78	0	5	2	2	4	99.05	0
	豊田三好	27	26	0	2	1	3	4	90.22	3
	豊 田 中	57	55	0	1	0	3	3	97.33	4
	9RC	733	730	1	34	8	37	33		12
西 三 河 分 区	刈 谷	92	87	0	2	2	7	4	100.00	0
	安 城	71	69	0	4	1	6	3	93.94	1
	西 尾	76	78	1	4	0	2	4	94.56	1
	碧 南	76	77	0	4	1	3	4	98.41	0
	一 色	42	38	0	0	0	4	4	98.68	0
	高 浜	48	49	0	2	0	1	4	97.01	2
	知 立	64	65	0	1	0	0	4	90.54	0
	西尾KIRARA	61	63	1	2	0	0	3	93.65	0
	三河安城	49	49	1	3	0	3	4	90.34	2
	9RC	579	575	3	22	4	26	34		6
地区合計		5737	5667	20	233	62	303	298		123

地区内クラブ数 79RC	2002.7.1 会員数	5,737名	増加会員数 (累計)	233名
	当月末会員数	5,667名 (内女性124名)	減少会員数 (累計)	303名
	当月平均出席率	96.35%	差引純増会員数 (累計)	▲ 70名



表紙を語る

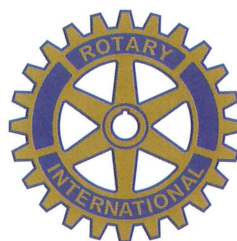
北斎即書大画引札

(ほくさいそくしょたいがひきふだ) 江戸時代 文化14年(1817)
名古屋市瑞穂区 名古屋市博物館蔵

葛飾北斎と言えば「冨嶽三十六景」。中でも赤富士が有名ですが、この北斎が名古屋で活躍したことは余り知られていません。時は文化14年(1817)10月、場所は西別院の境内。名高い江戸の浮世絵師・北斎先生が畳120枚分というビックサイズの紙に、即興で大ダルマの絵を描くということで、宣伝のために刷られたピラがこの引札です。

当日は快晴無風、絶好の日和。ワラを束ねて作った筆を、桶に入れた墨にドブブリとつけて一気に大ダルマの絵を描き上げ、柱に吊り上げると、風に吹かれてふくらんだり縮んだり。さすが、北斎はやる事が大きい。やらせた名古屋人も大したものです。

(名古屋市博物館 学芸員 鳥居和之)



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 岡部 快圓

〒460-0011 名古屋市中区大須2-21-47 大須観音宝生院内

TEL 052-229-8110 FAX 052-232-1023

URL : <http://www.rotary2760.org>

E-mail : governor02-03@rotary2760.org
